

登録コード	A3594384	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究				担当教員	未定 拓時	
英文授業名	Thesis Research						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				森林・環境共生学に関する専門的な知識や研究能力を修得している		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って森林・環境共生学に関する問題をとらえ解決する能力を修得している		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確な情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				森林・環境共生学に関する専門的な知識や研究能力を修得している		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って森林・環境共生学に関する問題をとらえ解決する能力を修得している		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	研究室へ配属次第、研究課題を教員と相談して決定します。テーマが決定したら、研究計画を立て、それに従って調査、実験を開始します。そして、打ち合わせ等で進行状況を確認し合いながら、研究を進めていきます。						
(5)授業計画	研究室への配属次第、教員と相談して研究課題を設定します。 ここでは、木材及び木質材料の物理的・力学的特性の把握とその解明を目指し、そのうえで木材の効果的な利用法を開発するための研究を行います。主な課題として以下のものが挙げられます。 1. 木材や木質材料の物理的・力学的性能の評価 2. 木造建築物の接合部や耐力壁といった構造要素の性能評価 研究の進捗確認と今後の方向修正のため、必要に応じて打ち合わせを実施します。また、研究課題に関連する調査や文献のまとめ、実験結果報告書の作成等を課すことがあります。なお、最終回の最後の15分で授業アンケートを実施します。						
(6)自主学習の指針	自主学習は必要不可欠です。研究課題に関連する分野についての情報を積極的に探索・収集するようにしてください。研究計画を立てた後は、積極的に専攻研究を進めてください。						
(7)成績評価の基準	研究を通して、専門知識や実験手法を習得したか、問題解決能力、論理的思考能力が養われたかどうかを評価します。						
(8)事前事後学習の内容	研究課題に関連する分野についての情報を積極的に探索・収集し、研究課題周辺の研究動向について把握してください。また、実験方法については論文や書籍等を参照し、あらかじめ理解するように努めてください。実験ノート等実験の手順や内容、結果を必ず記録し、整理しておいてください。また、得られた結果について文献等を参照しながら随時考察を行ってください。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	打ち合わせやゼミでの発表内容を通じ、専門知識や実験手法を習得したか、問題解決能力、論理的思考能力が養われたかどうかを総合的に評価します。 評価基準： S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時、質問や相談を受け付けます。その他の時間帯についてはメールにて事前に調整のうえ、研究室等で対応します。簡単なものについてはメールのみで対応することもあります。 連絡先：未定拓時 B棟3階311号室 suesada[at]shinshu-u.ac.jp ([at]は@に変換してください。)						
(12)履修上の注意	専攻研究は随時教員と相談しながら進めますが、履修者の自主自立を重視するため、主体性を持って自ら研究を進めてください。実験では耐力壁等の大きな試験体を取り扱ったり、試験体作製のため木作業を行ったりすることがあります。その際は複数人での作業が必要となるため、他の学生の実験や作業を手伝ってもらうことがあります。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	必要に応じて文献を提示します。						